

だんないの道

第7号

2012年12月26日発行

発行者：NPO法人CIL だんない

代表者：美濃部裕道

連絡先：〒529-0423 滋賀県長浜市

木之本町千田681番4

TEL : 0749-50-3639

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

代表あいさつP1
活動報告P2
コラム ヨリの雑記帳P5



代表あいさつ

バタバタしている間に、もう年末！年賀状はどうしようと悩んでいるこの頃です。先日は例年より早く大雪となり、自立して初の冬を迎え、その日の早朝にヘルパーが来てくれるかドキドキしながら待っていました。無事に来てくれてホッとしました。思わぬ所に敵が！という感じです。これからどのように生きていけばよいのでしょうか（笑）

この秋のだんないは、ほとんど出かけてばかりで行事予定表が真っ黒になり、何が書いてあるのか、よくわからなくなるほど大忙しでした。私自身、11月中に2度も風邪を引いてしまい、1度は出張先の熊本で具合が悪くなり多くの人にご迷惑をかけてしまいました。その他の職員においても、当事者も介助者もかなりの割合で体調を崩していました。つくづく体調管理の難しさを感じました。

ところで、先日11月23日にポジティブキャンプという東北と関西の交流をしようというイベントが大阪であり、だんないからも職員が参加して出店しました（私は風邪でダウンしていました笑）。日頃からよく通っているラーメン屋『想味亭（旧称よあけ）』（木之本町大音）の皆さんのご協力により、そのイベントでラーメン屋を出店することができました。初コラボの実現です。私たちは昨年秋から、想味亭を見つけラーメンを食べさせて頂いています。最初はバリアがあり、私たちは行けませんでした。職員の一人が「スロープがあれば・・・」と社長に言ってみると、次に行ったときには手作りのスロープが付いていました。これが出会いのきっかけです。その後も、新装オープンされるということでバリアフリー設計について、だんないが初期の段階から関わり、アドバイスを言い、それを社長が快く聞き

入れてくださるということもありました。それ以来、想味亭の方々と私たちの関係は深まり、たびたび想味亭のラーメンを食べさせていただくようになりました。その中で、今回のようにコラボできたのは、だんないとして本当にうれしい限りです。当日は雨が降り、あいにくの天候でしたが、想味亭の方々は全面的なご協力をいただきました。おかげさまで無事に終わることができました。想味亭の皆様には感謝を申し上げます。

その他にも、特別支援学校から実習生を受け入れた件や、ピア・カウンセリング講座の現状や、自立支援協議会の活動など、皆様にご報告したいことはたくさんありますが、またの機会とさせていただきます。このように、私たちは地道に活動を行っています。

政治の世界では政権が民主党から自民党へ変わり、障害者施策が劇的に変わることが予想されます。障害者自立支援法が復活し、利用者の1割負担が再び導入されることに非常に危惧しているところです。だんないの活動にも多大な影響を与えかねません。この流れの中で、どのように活動していくかが、今問われていると思います。

かなり暗い方向に話を進めてしまいましたが、だんないは今まで以上に職員が協力し合い、この状況を打開すべく努力していく所存です。会員の皆様方におかれましては、いつも暖かく見守っていただきまして本当にありがとうございます。今後も引き続き、暖かいご支援ご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。この冬も厳冬が予想され、だんないも雪に埋もれてしまうかもしれませんが、お近くに来られた際は気軽にお立ち寄りください。

美濃部 裕道

活動報告

日付	内容	参加者
10月4日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
10月6日～7日	第10回「障害児」の高校進学を実現する全国交流 集会 in 埼玉	美濃部、頼尊
10月9日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 住まいの場確保プロジェクト	美濃部、頼尊
10月10日	アクセス関西ネットワーク設立集会・記念講演	美濃部、頼尊、小里
10月11日	CIL湖北 第1弾学習会 「障害サービスと制度のはなし」	頼尊、小里
10月12日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	美濃部、頼尊
10月17日	帝産バス乗車拒否問題検討会議	頼尊
10月18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	頼尊

10月20日	ふりーくす in リバティ大阪「原発と障害」	頼尊
10月21日	自立生活プログラム「京都へ行こう」	美濃部、頼尊、小里
10月23日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会	頼尊
10月24日	帝産バス乗務員研修	頼尊
10月24日	JIL（全国自立生活センター協議会）加盟決定	
10月25日	改正法人税法等の説明会	頼尊
10月26日	長浜養護学校中学部 文化祭	美濃部、小里
10月27日	長浜養護学校 評議委員会	美濃部
10月27日	長浜養護学校小学部文化祭	美濃部
10月28日	だんないピア・カウンセリング入門講座	美濃部、頼尊
10月30日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 運営委員会	美濃部、頼尊
11月1日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
11月2日	様々な障害の観点から鉄道駅の安全を考えるシン ポジウム in 大阪	頼尊
11月3日～4日	第36回 日本死の臨床研究会プログラム in 京 都	頼尊
11月6日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	頼尊
11月7日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 住まいの場確保プロジェクト	美濃部、頼尊
11月7日	成年後見講座 第1回 初級・入門編	美濃部、頼尊
11月9日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	美濃部、市川
11月9日～10日	関西IL合宿 in アミティ舞洲	頼尊
11月10日～12日	四国交通バリアフリー視察	頼尊
11月13日～14日	障害者相談支援事業職員研修会 in 東京	頼尊
11月14日	長浜高等学校 講演	美濃部
11月15日	成年後見講座 第3回 番外編	美濃部
11月17日～18日	全肢連近畿ブロック地域指導者育成セミナー in 近江八幡	頼尊
11月18日	ピア・カウンセリング in ほっとステーション	小里
11月19日～20日	DP1バリアフリーリーダー養成講座（第6期） 前期プログラム in 熊本	美濃部、頼尊
11月21日～22日	差別禁止法に向けた運動のリーダー養成講座 in 東京	頼尊

11月23日	第3回 長浜市社会福祉大会	市川
11月23日	第3回 東北⇔関西ポジティブ生活文化交流祭 in大阪	頼尊、小里
11月25日	だんないピア・カウンセリング入門講座	美濃部、小里
11月27日	長浜養護学校 訪問	美濃部
11月27日	滋賀ネット会議	頼尊
11月28日	長浜保健所 訪問	頼尊
12月1日～2日	第1回DPI 障害者政策討論集会	頼尊
12月3日～7日	長浜養護学校より職場実習	
12月6日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会	頼尊
12月6日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 第2回全体会議	全員
12月8日	東北・交通バリアフリーシンポジウム	頼尊
12月8日	第37回ぼてとファーム評議員会議	美濃部
12月8日	賤ヶ岳冒険遊び場『もちつき会』	美濃部、市川
12月11日	だんない忘年会	全員
12月12日	京都駅アクセス交渉	頼尊
12月13日	大阪障害フォーラム	頼尊
12月14日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 相談ワーカー部会	美濃部、頼尊
12月15日	ふりーくす inリバティ大阪	頼尊
12月16日	だんないピア・カウンセリング入門講座	美濃部、頼尊、小里
12月18日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 発達しょうがい者支援部会	頼尊
12月20日	住まいの場確保プロジェクト 当事者サポーター推進委員会	美濃部、頼尊
12月21日	長浜米原しょうがい者自立支援協議会 重介護・医療ケア検討部会 事務局会議	頼尊

コラム

ヨリの雑記帳（6）

最近、ご縁があって交通バリアフリー関連の用事をする事が多い。先日も調査で東北地方に出かける用事があった。そのおかげで、東北を約半周することができた。

どこでもそうであるが、地方に行くと、その地方の「ルール」があるらしい。「お国ルール」とでもっておこうか。もちろん、最新の試みとして、次の新しい基準を産んでいくという方向性もある。だが、この「お国ルール」は、時として人々を拘束したり、差別や排除をしたりすることもある。今回は、このお国ルールについてが、話題である。

先日、仙台駅でのこと。朝、岩手・青森方面のバリアフリー調査のために、一ノ関駅行き普通電車に乗ろうとした。いつものように、駅員さんにスロープ板の介助をお願いすると、「お名前とお電話番号を教えてください」と駅員が言う。私は、関西や東京、また以前に住んでいた九州で公共交通機関をよく利用するが、新幹線の予約は別として、普通電車に乗るのに名前や電話番号を聞かれることはない。だから、「お名前とお電話番号を教えてください」という言葉に驚きを隠せなかった。「なんでや？」と言おうとする私であったが、ツバを飲み込んで周りを見渡す。予想通り、健常者の乗客には名前と電話番号を聞いていない。明らかに「健常者の乗客と異なる取り扱い」である。私は、「個人情報なので。」という、「お名前とお電話番号を教えてください」を教えられなければご乗車いただけません！」ととても強い口調でおっしゃるのであった。

たしかに、この日は、先日から降り続けていた雪の影響で、電車は朝から運休や遅れが発生していたので、駅員が殺気立っていたのは事実である。でも「ご乗車いただけません！」はないだろう。しかも、今から電車に乗るのに、携帯電話の電話番号を聞いてどうするの？確か、JR 東日本をはじめとするこの鉄道会社も車内は通話禁止のハズである。また、この一関駅行きの電車のように車内段差のある電車では、車いすの乗客はスロープ板がないと下車できない。また、たかが2両編成のローカル電車なので、車いすの乗客は私ひとりだろうし、見渡すとすぐにわかるだろう。東京発の東海道本線は15両編成で、駅によっては車いす利用者の単独乗降も可能である。そのような路線ですら、名前と電話番号を聞かれたことがないのに、なぜ、車内段差のある2両編成のローカル線で聞かれるのか。そのような意味では、電話番号も名前も必要性自体ないだろう。私は、疑問を抱かずにはおれなかった。

その後、東北地方を調査しながら、乗り換えや乗降を何度となくしたが、名前と電話番号を聞くという行為は、宮城、岩手、秋田、青森の4県で利用した駅のすべてで平然と行われていた。中には、帰りの電車の時間を聞いてくる駅もあった。

全国のローカル線の区間内では、バリアフリー化した鉄道施設があるにもかかわらず、車いす利用者が電車に乗る行為すらおっくうに感じ、自家用車や福祉有償運送などに頼らざるを得ない現状がある。また、それすらできないで「外出など夢のまた夢」と思い込んでいる人も少なくないのである。よく思い出すと、東北地方の多くの駅で、普通電車に乗るのに「ご予約されていますか？」と聞かれた。東北地方では、普通電車で数駅行くのにも予約し、名前と電話番号を伝えなければいけない現状があるのだ。これでは、普通に電車に乗るという行為が、「駅のみどりの窓口に行き、多くの場合は翌々日以降の乗りたい電車を選択し、名前と電話番号を伝える」という小旅行並みの行為が必要となり、外出する気力す

ら失せてしまう。つまり、JR 東日本は駅の電話番号を公開していないので、予約するだけのためにどうしても駅に行く必要があり、数駅電車に乗るだけでも、2度にわたって駅に行く必要があるのだ。全くだ。私は、これを「障害者の外出断念作戦」とでも言いたい。

関西圏に住む私たちが当たり前のように受けている人間として権利が東北の車いす利用者には受けられない状態が続いているのである。明らかに地域間格差としか言いようがない。もちろん、どちらの地方が「障害者の人権を尊重したまちづくり」をしているかは、一目瞭然であろう。いくら声高に「障害者の社会参加」といっても、「人権」を尊重しないまちづくりであると、いくら駅にエレベーターが付いたとしても、それはハコモノ行政に終わってしまい、社会参加もできようがない。

例の仙台駅も駅にはエレベーターがあり、鉄道路線によっては、全国的に珍しい低床型プラットフォームに対応する低床車両が走っている。しかし、電車に乗る入り口で、障害者に対する無理解によって、こんな思いをしなくては乗れない状態であれば、そのような設備は、あってないようなものである。何ともったいないことをしているのだろうか？

2013 年初春には、国会で国連の障害者権利条約の批准に向けた「障害者差別禁止法」制定に関する議論がなされる予定である。先の選挙の結果で先行きはかなり不透明であるが、この法律によって、このような地域間格差を少しでも解消できるはずである。国民の一人としてこの法律のゆくえを大いに注目している。

大幅に提出が遅れていたこの原稿の出稿もできる目処はたった。さてと、待望しており、ようやく数日前にできた敦賀駅のエレベーターとそれに続く橋上駅を利用して敦賀港でもいこうかな。

(よりたか つねのぶ)



NPO 法人 CIL だんない

〒529-0423

代表 美濃部裕道、副代表 市川正太

滋賀県長浜市木之本町千田681番4

事務局長 頼尊恒信、理事 横山卓馬

TEL : 0749-50-3639

URL : www.ab.auone-net.jp/~dannai

FAX : 0749-50-3961

E-mail : dannai@ae.auone-net.jp

郵便振替口座番号 : ゆうちょ銀行木之本支店 00940-2-209115

加入者名 : NPO 法人 CIL だんない